

## 「Society5.0 で北海道が変わる」 日本学術会議 in 北海道 学術講演会を開催

～「下町ロケット」監修の北海道大学 野口伸教授が講演～

### 【概要】

2月16日(土)13時30分から、ANAクラウンプラザホテル札幌3階「祥雲」において、日本学術会議 in 北海道 学術講演会「Society 5.0\*1で北海道が変わる (AI・IoT・RT\*2技術の地方深化)」を開催します。

### 【趣旨】

第5期科学技術基本計画では、世界に先駆けた「超スマート社会\*3」の実現、すなわち Society5.0が掲げられています。AI, IoT, ネットワーク等の高度な情報技術の活用を、ものづくりだけでなく、様々な分野に広げ、経済成長や健康長寿社会の形成、さらには社会変革につなげていくものです。科学技術の成果があらゆる分野や領域への浸透を促し、地域社会にも大きな変革が期待されています。

そこで本講演会では、Society 5.0が地域、特に北海道にとってどのような期待と可能性をもたらすのか、それぞれ専門の立場から講演いただきます。参加費無料でどなたでも参加できますので、お気軽においでください。

【日 程】 2019年2月16日(土)13時30分～16時45分

【場 所】 ANAクラウンプラザホテル札幌3階「祥雲」(札幌市中央区北3条西1丁目2-9)

【主 催】 日本学術会議

【共 催】 北海道大学

【対 象】 講演内容に関心のある方はどなたでも参加可能

【定 員】 200人

【参加費】 無料

【言語】 日本語

【申込方法】 以下のいずれかの方法で、2月12日(火)までに、下記申込先へお申し込みください。

①メールまたはFAXで、添付の参加申込書を送付してください。

②参加申込書を送付できない場合、電話、メールまたはFAXで1)お名前、2)会社・機関名、3)連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)をお知らせください。

≪申込先≫ 日本学術会議北海道地区会議事務局(北海道大学研究推進部研究振興企画課)

TEL: 011-706-2155/2166 FAX: 011-706-4873 E-mail: suishin@general.hokudai.ac.jp

(参考) 北海道大学ホームページ URL

<https://www.hokudai.ac.jp/events/2019/01/insociety50aiiotrt.html>

## 【プログラム】

≪司会≫ 但野 茂（日本学術会議第三部会員・独立行政法人国立高等専門学校機構理事，函館工業高等専門学校長）

### 13：30～13：50 挨拶

山極壽一（日本学術会議会長・京都大学総長）

笠原正典（北海道大学理事・副学長）

### 13：50～14：30 講演「Society5.0 時代における科学技術・イノベーション政策」

山脇良雄（文部科学省文部科学審議官）

### 14：30～14：40 休憩

### 14：40～15：20 講演「ロボット技術とその知能化～現状と社会実装加速に向けての将来展望～」

浅間 一（日本学術会議第三部会員・東京大学大学院工学系研究科教授）

### 15：20～16：00 講演「農業における Society5.0 の実現に向けて」

野口 伸（日本学術会議連携会員・北海道大学大学院農学研究院副研究院長）

### 16：00～16：10 休憩

### 16：10～16：35 総合討論，質疑応答

座長：但野 茂（日本学術会議第三部会員・独立行政法人国立高等専門学校機構理事・函館工業高等専門学校長）

### 16：35～16：45 挨拶

寶金清博（日本学術会議第二部会員・北海道地区会議代表幹事・北海道大学副学長・北海道大学病院長）

## お問い合わせ先

北海道大学研究推進部研究振興企画課総務担当 係長 三浦 司（みうらつかさ）

T E L 011-706-2155 F A X 011-706-4873 メール suishin@general.hokudai.ac.jp

## 配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

## 【用語解説】

- \*1 Society 5.0 … サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより，経済発展と社会的課題の解決を両立する，人間中心の社会（Society）のこと。
  
- \*2 AI・IoT・RT … 「AI」は人工知能（Artificial Intelligence），「IoT」は様々な物がインターネットに接続され，情報交換することにより相互に制御する仕組み（Internet of Things），「RT」はロボット技術（Robot Technology）のこと。
  
- \*3 超スマート社会 … 必要なもの・サービスを，必要な人に，必要な時に，必要なだけ提供し，社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき，あらゆる人が質の高いサービスを受けられ，年齢，性別，地域，言語といった様々な制約を乗り越え，生き活きと快適に暮らすことのできる社会のこと。

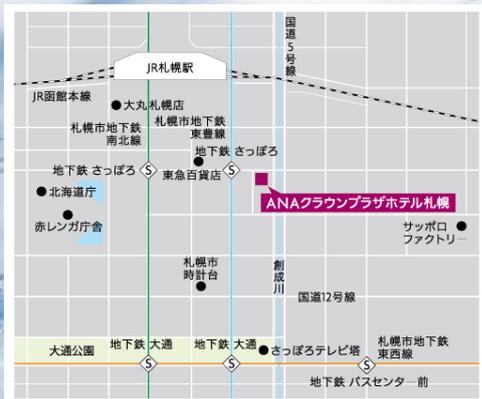
# Society 5.0で北海道が変わる

## (AI・IoT・RT技術の地方深化)

どなたでも  
参加できます  
(入場無料)

日時 2019年 2月16日(土)  
13:30~16:45

会場 ANAクラウンプラザホテル札幌  
3階 祥雲(札幌市中央区北3条西1丁目2-9)



第5期科学技術基本計画では、世界に先駆けた「超スマート社会」の実現、すなわちSociety 5.0が掲げられています。AI, IoT, ネットワーク等の高度な情報技術の活用を、ものづくりだけではなく、様々な分野に広げ、経済成長や健康長寿社会の形成、さらには社会変革につなげていくものです。科学技術の成果があらゆる分野や領域への浸透を促し、地域社会にも大きな変革が期待されています。

そこで本講演会では、Society 5.0が地域、特に北海道にとってどのような期待と可能性があるのか、それぞれ専門の立場から講演いただきます。参加費無料でどなたでも参加できますので、お気軽においでください。

### PROGRAM

- |             |           |   |
|-------------|-----------|---|
| 13:30~13:50 | 挨拶        | 山極 壽一(日本学術会議会長・京都大学総長)<br>笠原 正典(北海道大学理事・副学長)                            |
| 13:50~14:30 | 講演        | 「Society 5.0時代における科学技術・イノベーション政策」<br>山脇 良雄(文部科学省文部科学審議官)                |
| 14:30~14:40 | 休憩        |   |
| 14:40~15:20 | 講演        | 「ロボット技術とその知能化~現状と社会実装加速に向けての将来展望~」<br>浅間 一(日本学術会議第三部会員・東京大学大学院工学系研究科教授) |
| 15:20~16:00 | 講演        | 「農業における Society 5.0の実現に向けて」<br>野口 伸(日本学術会議連携会員・北海道大学大学院農学研究院副研究院長)      |
| 16:00~16:10 | 休憩        |   |
| 16:10~16:35 | 総合討論、質疑応答 | 座長: 但野 茂(日本学術会議第三部会員・(独) 国立高等専門学校機構理事、函館工業高等専門学校学校長)                    |
| 16:35~16:45 | 挨拶        | 寶金 清博(日本学術会議第二部会員、北海道地区会議代表幹事・北海道大学副学長、病院長)                             |

- 主催 日本学術会議
- 共催 北海道大学
- 参加申込・お問い合わせ先 日本学術会議北海道地区会議事務局(北海道大学 研究推進部 研究振興企画課)  
Tel:011-706-2155・2166 Fax:011-706-4873 E-mail:suishin\*general.hokudai.ac.jp  
(上記E-mailアドレスの\*マークを@に変えてお送りください。)

電話、FAXまたは電子メールで2月12日(火)までに上記へお申し込み下さい。(当日受付可)

